

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2023年2月9日 No.107

国府津運輸区
だけじゃない！

懲罰的 日勤教育

2022年11月12日、宇都宮運輸区において「信号確認を行わずに速度超過」という事象が発生しました。会社は事象発生後、事象を起こした組合員に対し、11月13日から12月末まで長期の日勤教育を行い、1月からは単独乗務に向けての線見(2人乗務)を行っていました。

しかし、2月8日の見極めを目前にした2月1日、副区長 X らとの「振り返り」を受けた当該組合員は憔悴し、「運転することが怖い」と追い詰められていきました…

1月31日、当該組合員と本務運転士が宇都宮駅から乗務する前に、当該組合員がトイレに行った関係もあり、本務運転士が運転席に座り、当該組合員は横に立っていました。そこへ副長が添乗にきました。その事象を巡り、2月1日の「振り返り」では…



【副長 X の主な言葉①】
運転士とハンドルを代わっていたことに **ガッカリ** した。

【副長 X の主な言葉②】
一回、**運転士をクビになった状態** なのだから、強い気持ちで押し切って欲しかったのに、その甘えた気持ちに **ガッカリ** した！

【当該組合員の主な主張】
私がトイレに行こうと相談した関係もあり、本務運転士に運転席を代わってもらった…

【副長 X の主な言葉③】
日勤教育のシミュレータ運転で喚呼している動画と比べて質が落ちている。 **普通の運転士と変わらない！それではダメだ！** 一生懸命やっている姿が見受けられない！

【副長 X から **パワハラ** を受けた後の当該組合員】
「自分はクビになってたんだと思って自信を喪失した。何をやってもミスをしてしまいそうで運転するのが怖い。緊張で事故を起こしてしまう…」

パワハラを受けた組合員はストレスで体調を崩し **出勤できない状況** となる

パワハラ・恫喝による人格否定の **懲罰的日勤教育を直ちにやめろ！**

安全を守る為に東労組に結集しよう！

横浜支社では、日勤教育で自殺を考えるまで追い込まれましたが、支社はパワハラを認めず「適正な指導の範囲」と開き直っています。

JR東日本の企業体質として誰もが懲罰的日勤教育を受ける可能性があります！

パワハラを受けたらJR東労組に相談を！